2010/10/28

TDB

株式会社帝国データバンク
東京都港区南青山 2-5-20
TEL：03-5775-3073
URL:http://www.tdb.co.jp/

**特別企画：ＦＸ（外国為替証拠金取引）業者の経営実態調査**

# 成長は頭打ち、競争激化やレバレッジ規制により今後淘汰が進む

## ～ 収入高総額は前期比 1.3%減、大手と中堅で格差あり ～

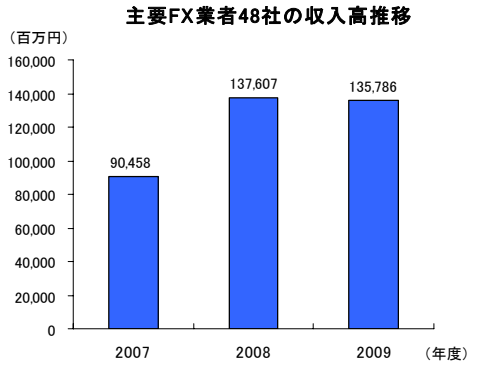
### はじめに

円高に関するニュースが連日報道され、為替の動向に注目が集まっている。史上最高値（1 ドル＝79 円 75 銭）に迫る勢いで円高が進んでおり、企業の経営に及ぼす影響は計り知れない。こうした円高基調のなかで、ＦＸ（外国為替証拠金取引）への注目が集まっている。為替相場の高い変動率を背景に、長い取引時間や効率的な資金活用ができるレバレッジなどの利便性の高さから、近年では株式取引に次ぐ人気を集めている。

帝国データバンクでは、2010 年 10 月時点の企業概要データベース「ＣＯＳＭＯＳ２」（134 万社収録）から、ＦＸの専業者を抽出し、収益動向などについて調査・分析を行った。なお、ＦＸを扱う銀行や証券会社などについては今回の対象には入っていない。同様の調査は今回が初めて。

### 調査結果（要旨）

主要 48 社の 2009 年度（2009 年 4 月～2010 年 3 月期決算）収入高総額は 1357 億 8600 万円となった（前年度比 1.3%減）。年収入高 50 億円以上の大手では増収となった業者が多い一方で、中堅業者では減収となったところが多く、勝ち組と負け組の二極化傾向が見えはじめている。




| | TDB 企業コード | 企業名 | 2009年度（2010年3月期決算） 収入高(百万円) | 前期比（%） | 純利益(百万円) | 前期比（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 987466752 | （株） 外為オンライン | 19,126 | 17.6 | 7,850 | 33.5 |
| 2 | 981304748 | （株） 外為どっとコム | 15,894 | ▲ 32.4 | 3,117 | ▲ 59.4 |
| 3 | 988969424 | クリック証券 （株） | 15,124 | 87.2 | 3,711 | 90.4 |
| 4 | 989934110 | （株） マネーパートナーズ | 9,682 | 44.8 | 1,129 | ▲ 37.4 |
| 5 | 981675058 | （株） サイバーエージェントＦＸ | 6,734 | 14.2 | 2,004 | 38.4 |
| 6 | 582052260 | （株） ＥＭＣＯＭ ＣＡＰＩＴＡＬ | 6,046 | 9.6 | 1,243 | 1.0 |
| 7 | 981477310 | （株） ＦＸトレーディングシステムズ | 5,911 | 15.0 | 2,280 | 24.6 |
| 8 | 986286400 | ひまわり証券 （株） | 5,591 | ▲ 19.6 | ▲ 216 | ▲ 123.8 |
| 9 | 981288036 | フォーランドフォレックス （株） | 4,900 | ▲ 1.8 | 419 | ▲ 73.8 |
| 10 | 401436851 | （株） ＭＪ | 4,575 | ▲ 12.7 | 702 | ▲ 41.8 |

※ＥＭＣＯＭ ＣＡＰＩＴＡＬは、2010年7月20日にＥＭＣＯＭ証券から商号変更。現在はトレイダーズ証券がＦＸ事業・証券事業を承継している。

©TEIKOKU DATABANK, LTD. 2010

## 1. 収入高総額の推移 ― 2009 年度は前年度比 1.3%減

過去 3 期分の業績が判明している主要 48 社の収入高総額の推移をみると、最新期である 2009 年度（2009 年 4 月～2010 年 3 月期決算）の収入高総額は、1357 億 8600 万円となった（前期比 1.3%減）。個人投資家を中心とするＦＸへの注目の高まりを背景に、各社ともに口座数・預かり証拠金残高を増加させた一方で、景気回復への不透明感を背景に顧客の投資スタンスが慎重になり、取引の小口化が進行。加えて新規参入業者の増加による競争激化もあり、急成長した 2008 年度に比べて全体の収入高は減少となった。

主要48社の収入高総額の推移

| 年度 | 収入高総額（百万円） | 前年度比（%） |
|---|---|---|
| 2007 | 90,458 | ― |
| 2008 | 137,607 | 52.1 |
| 2009 | 135,786 | ▲ 1.3 |

## 2. 収入高の前期比較 ― 大手と中堅で二極化の傾向

直近 2 期の収入高の増減をみると、2008 年度には「増収」企業が 34 社であったのに対して、2009 年度は 20 社まで減少した。一方で「減収」企業は全体の半数近くまで増加しており（構成比 47.9%）、前年と比べると減収傾向となった。

| 年度 | 増収 | 構成比（%） | 減収 | 構成比（%） | 横ばい | 構成比（%） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2008 | 34 | 61.8 | 17 | 30.9 | 4 | 7.3 | 55 |
| 2009 | 20 | 41.7 | 23 | 47.9 | 5 | 10.4 | 48 |

収入高の規模別にみると、年収入高「50 億円以上」の大手では増収となった業者が 75%を占めている一方で、「10 億円以上～50 億円未満」の中堅業者の 75%が減収となっており、勝ち組と負け組の二極化の傾向が見えはじめている。

| 収入高規模 | 増収 | 構成比（%） | 減収 | 構成比（%） | 横ばい | 構成比（%） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 50億円以上 | 6 | 75.0 | 2 | 25.0 | 0 | 0.0 | 8 |
| 10億円以上～50億円未満 | 4 | 25.0 | 12 | 75.0 | 0 | 0.0 | 16 |
| 10億円未満 | 10 | 41.7 | 9 | 37.5 | 5 | 20.8 | 24 |
| 合計 | 20 | 41.7 | 23 | 47.9 | 5 | 10.4 | 48 |

## 3. 従業員数 ― 20 人未満の業者が約半数を占める

従業員数をみると、「20 人未満」の小規模業者が 25 社（構成比 44.6%）となり、半数近くを占めることがわかった。既存の証券会社と比べてインターネット上での非対面営業を中心とする業者が多いため、少人数にて事業を行う会社が目立つ。最も従業員数が多い外為どっとコムでも 200 人強となっている。

| 従業員数 | 社数 | 構成比 |
|---|---|---|
| 100人以上 | 4 | 7.1% |
| 50人以上～100人未満 | 12 | 21.4% |
| 20人以上～50人未満 | 15 | 26.8% |
| 20人未満 | 25 | 44.6% |
| 合計 | 56 | 100.0% |

©TEIKOKU DATABANK, LTD. 2010

## 4. 業歴 ― 約 8 割が 10 年未満の新興企業

業歴（設立年ベース）をみると、全体の 8 割近くの会社が設立から 10 年未満であることがわかった。これは、1998 年に改正された「外国為替および外国貿易法」により個人との取引が解禁になったことを受け、同年以降の時期から参入した業者が大半となっているためである。業界上位 10 社の中でも 7 社が業歴 10 年未満となっている。また、業歴の長い企業は証券業や商品先物取引業から転業したものが大半を占めている。

| 業歴 | 社数 | 構成比 |
|---|---|---|
| 30年以上 | 5 | 8.9% |
| 10年以上～30年未満 | 8 | 14.3% |
| 10年未満 | 43 | 76.8% |
| 合計 | 56 | 100.0% |

## 5. 収入高上位 10 社 ― 2009 年度の 1 位は外為オンライン

2009年度年収入高の上位10社をみると、1位は外為オンラインの191億2600万円（前期比17.6%増）で増収増益となった。テレビＣＭを中心とする積極的な広告戦略が奏功し、口座数・預かり証拠金残高ともに順調に増加させ、年間取引高は業界1位となっている。2位の外為どっとコムは収入高158億9400万円（同32.4%減）で減収減益となった。3位のクリック証券は収入高151億2400万円（同87.2%増）で大幅増収となり、後発の業者ながら健闘している。

| TDB企業コード | 企業名 | 2007年度 | | 2008年度 | | | | 2009年度 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 収入高（百万円） | 純利益（百万円） | 収入高（百万円） | 前期比（%） | 純利益（百万円） | 前期比（%） | 収入高（百万円） | 前期比（%） | 純利益（百万円） | 前期比（%） |
| 987466752 | （株） 外為オンライン | 7,096 | 2,574 | 16,265 | 129.2 | 5,881 | 128.5 | 19,126 | 17.6 | 7,850 | 33.5 |
| 981304748 | （株） 外為どっとコム | 21,379 | 7,405 | 23,504 | 9.9 | 7,670 | 3.6 | 15,894 | ▲ 32.4 | 3,117 | ▲ 59.4 |
| 988969424 | クリック証券 （株） | 3,027 | 236 | 8,077 | 166.8 | 1,949 | 725.8 | 15,124 | 87.2 | 3,711 | 90.4 |
| 989934110 | （株） マネーパートナーズ | － | － | 6,687 | － | 1,803 | － | 9,682 | 44.8 | 1,129 | ▲ 37.4 |
| 981675058 | （株） サイバーエージェントＦＸ | 1,625 | 451 | 5,898 | 263.0 | 1,448 | 221.1 | 6,734 | 14.2 | 2,004 | 38.4 |
| 582052260 | （株） ＥＭＣＯＭ ＣＡＰＩＴＡＬ | 794 | -56 | 5,517 | 594.8 | 1,231 | － | 6,046 | 9.6 | 1,243 | 1.0 |
| 981477310 | （株） ＦＸトレーディングシステムズ | 466 | 150 | 5,141 | 1,003.2 | 1,830 | 1,120.0 | 5,911 | 15.0 | 2,280 | 24.6 |
| 986286400 | ひまわり証券 （株） | 5,820 | 614 | 6,951 | 19.4 | 906 | 47.6 | 5,591 | ▲ 19.6 | -216 | ▲ 123.8 |
| 981288036 | フォーランドフォレックス （株） | 2,966 | 714 | 4,989 | 68.2 | 1,599 | 123.9 | 4,900 | ▲ 1.8 | 419 | ▲ 73.8 |
| 401436851 | （株） ＭＪ | 1,299 | 520 | 5,239 | 303.3 | 1,206 | 131.9 | 4,575 | ▲ 12.7 | 702 | ▲ 41.8 |

※ＥＭＣＯＭ ＣＡＰＩＴＡＬは、2010年7月20日にＥＭＣＯＭ証券から商号変更。現在はトレイダーズ証券がＦＸ事業・証券事業を承継している。

©TEIKOKU DATABANK, LTD. 2010

## 6. まとめ

ＦＸ業界は、事業環境の大きな変化にさらされている。新規顧客獲得のための業者間の競争が激化の一途をたどり、手数料競争から低スプレッド競争、さらには高レバレッジ競争とサービスの角逐が続いた。ついには数百倍ものレバレッジを売りものとする業者も現れたが、加熱するシェア争いのなかで強まる投機色を抑えるために、信託保全の義務化やロスカットルールの整備・遵守など、金融庁による規制強化が行われた。

2010 年 8 月 1 日からは上限 50 倍のレバレッジ規制がはじまり、2011 年には 25 倍までに規制される予定である。このレバレッジ規制を期に、高レバレッジで短期売買を中心に行う個人投資家が離れていくとみられており、取引高の減少が予想される。税制優遇のある取引所ＦＸへシフトする業者も相次いでいるほか、度重なる規制に対応できず、不振企業の淘汰や業界再編も今後進んでいくだろう。日興コーディアル証券は 10 月末でのＦＸ事業の撤退を発表。他にも、11 月にはＦＸ ＺＥＲＯがひまわり証券に合併される予定であり、今後もこうした動きは加速していくことが予想される。また、金融先物取引法が改正された 2005 年にはＦＸ業者の倒産が 39 件も発生している（帝国データバンク調べ)。規制の影響で、倒産する業者の増加が懸念される。

【内容に関する問い合わせ先】

（株）帝国データバンク　本社産業調査部　担当：相馬道広

TEL 03-5775-3073　　e-mail ： michihiro.souma@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。